

インファント だより



平成30年 2月



1月は雪が降り、子どもたちはめったに見られない雪に大興奮でした。雪が降った次日は乳児園庭で雪遊び。雪だるまを作ったり、スコップやカップを使ってかき氷屋さんをしたりと、寒さはすっかり忘れて目を輝かせ、夢中になって遊んでいましたよ。また、つき組やそら組の低月齢の子どもたちは真っ白な雪の上をそっと歩き、“サクッ”と雪の音がすることを発見すると、嬉しそうに弾みながらずんずん歩きだして音を楽しんでいました。雪の感触を味わうのは初めて！！という子どもも多かったのではないのでしょうか。大人はちょっぴり混乱してしまう雪ですが、子どもたちの嬉しそうな姿を見ると、また経験することができたらいいなあと思いますね。

【お正月あそび】

- ★こま作り…丸く切った厚紙に色を塗り、芯を刺してこまを作りました。にじ組の子どもたちは一人で回すこともでき、「おお！」と歓声をあげていました。また、そら組・つき組の子どもたちは保育士が回してあげると手を叩いて喜んでいましたよ。
- ★はがき作り…お正月は年賀状！ということで、牛乳パックを使って紙すきを行いました。キットはすべて、よしこ先生の手作り！すき網の上がだんだん白くなってくると、不思議そうに見ていましたよ。出来上がった紙を見て、「かたくなったね～」と更に驚く子どもたちでした。
- ★凧作り…四角い紙に自由に絵を描いて、脚とひもをつけました。



おもちつき にじ組は杵を持って、「よいしょー！」の掛け声で餅つきをしました。杵の重さに驚きながらも力強くお餅をついてくれました。

そら組・つき組の子どもたちも、園庭で餅つきの様子を見学した後、お部屋や乳児園庭で、みき先生がダンボールで作ってくれた杵と臼で餅つき大会！手拍子をしながら踊りだしてしまう子もいて、わいわい楽しい時間を過ごしていましたよ。



製作 鬼の拵づくり（にじ組）

鬼の顔・トラのパンツをのり貼り・シール貼りをして作りました。2日の園での豆まき集会では、園庭に鬼（保育者が鬼に変身！）が登場します。みんなで鬼に向かって豆まきをして、心の鬼を退治しますよ！！お家にも持ち帰りますので、ぜひお子さんと一緒に豆まきを楽しんでくださいね。



ひよこ・ひよこ 連絡事項



- ★ 無記名、また記名が薄くなっていたり、ご兄弟の名前など本人の名前のない衣服、口拭きタオルがいくつか見られます。もう一度記名のご確認お願い致します。（降園用の紙パンツにも必ずご記名ください。）
- ★ にじ組は、子どもの様子を見ながら幼児クラスへの移行を進めています。
移行について、保護者の方に誤解なくご理解いただきたいことは、**【「移行=優秀」「移行しない=問題がある」ではない】**ということです。にじ組から幼児クラスへの移行を検討する場合、一番大事にしている要素は「子どもの性格・特性」言い換えれば「個性」です。排泄・着脱がある程度自立していることは前提にはなりますが、形式的にも実質的にも保育士は子どもに優劣をつけての検討はしていません。その子にとって、2階に行って刺激を受けた方がいいのか、1階の慣れた場所で贅沢に環境を使った方がいいのか、一人一人の一つ一つの要素を保育士たちが会議で検討しています。